

POWER

R6. 5. 24

☆ なるせ保育園 保育目標

自分が好き、友だちが好き、東成瀬が好き
～優しさと自然につつまれて、一人ひとりが輝く子どもの育成を目指して～

☆ 目指す子ども像

- * のびのびと元気にあそぶ なるせっ子
- * 人と関わるちからを持つ なるせっ子
- * 失敗をおそれず挑戦する なるせっ子
- * 丈夫な体でやり抜く強さを持つ なるせっ子
- * 自然とふるさとを楽しむ なるせっ子

〈クラス目標〉

- 保健的で安全な環境の中で、一人一人の要求を十分に満たし、情緒の安定を図りながら、快適に生活できるようにする。
- 自分でできることに喜びをもちながら、生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。
- 生活経験を通し、相手の立場を考えたり、認め合ったりして、友だちとのかわりを深め、集団で活動する楽しさを味わう。
- 身近な環境に関心をもち、感じたこと、思ったこと、想像したことなどを様々な方法で表現する。

以上の活動を年間計画の中に反映させながら、子どもたちが楽しい取り組みをする中で、一人一人がのびのびと活動し、もっと知りたい、もっと出来るようになりたい、という意欲を高めていき、子どもたち自身が自分の成長に喜びを感じられるような一年にしたいと思います。

ご協力、ご支援宜しくお願い致します。

【 4～5歳児の特徴 】

- * 自我がしっかりして、自分と他人との区別もはっきりしてくる。
- * 自意識が芽生え、不安が生じたり、辛くなったりするなど、葛藤を体験する。
- * 友だちの遊びに喜びを見出す、一方で、けんかなど人間関係の葛藤にも悩む。
- * 仲間といることの喜びや楽しさがお互いに感じられるようになり、仲間とのつながりは強まるが、それだけに競争心も起き、けんかも多くなる。一方、この頃になると、仲間の中では、不快なことに直面しても、少しずつ自分で自分の気持ちを抑え、我慢もできるようになってくる。
- * 同じ一つの目的に向かって数人がまとまって活動するようになり、お互いが自分のやらなければならないことや、きまりを守ることの必要性が分かってきて、集団としての機能が発揮されるようになってくる。
- * 自分と相手との欲求のぶつかり合いやけんかが起きても、今までのようにすぐに保育士に頼るのではなく、自分たちで解決しようとするようになってくる。つまり、お互いに相手を許したり、認めたりする社会生活に必要な基本的な能力を身につけるようになり、仲間の中の一人としての自覚や自信が持てるようになる。
- * 言葉を主体として遊んだり、さらには共通のイメージを持って遊んだりすることもできるようになる。
- * 自分なりに考えて納得のいく理由で物事の判断ができる基礎が培われてくる。また、行動を起こす前に考えることもできるようになり、自分や他人を批判する力も芽生えてきて、「ずるい」とか「おかしい」など不当に思うことを言葉で表すようになる。
- * 好きでないことでも、少しは我慢して行い、他人の役に立つことがうれしく、誇らしく感じられるようになってくる。
- * 心の成長も著しく、自然物への興味・関心が強くなる。

子どもの気持ちに寄り添い、個々の意欲を尊重し、出来たことを大いにほめて、次へのステップに踏み出せる自信につながるよう、おおらかに見守っていきたいと思います。

「自分で行う大切さ」

さくら組への進級から、できる限り「自分で」という意識を持たせられるようにしながら過ごしています。朝夕の身支度、給食前のおしぼり、お昼寝の支度など毎日繰り返し取り組むことで、だんだん上手になってきています。

今後もさらに「自分でできる」という思いをたくさん持たせられるよう過ごしていければと思います。是非お家でもお子さんが一人で取り組む経験をさせてあげてください。

★おねがい★

- 運動会に向けて、かけっこやリレーに取り組んでいる子ども達です。運動しやすい服装での登園にご協力をお願い致します。また、汗をかくことも増えますので、汗拭きタオルや着替えの補充をお願い致します。
- 衣替えの時期になるかと思えます。送迎の際などにお子さんの棚を確認していただき、気温にあった服装の補充をしていただければと思いますのでよろしくお願い致します。その際に、サイズの確認もお願い致します。